



Prof. Aya KUBOTA
Assis. Prof. Akinobu
MASUMURA
Takuya HAGIWARA
NPO Balloon Ryohei SUZUKI

M1 Shiori USUI
M1 Naohiro OTOYAMA
M1 Takuto KOBAYASHI
B4 Yuki HOSHINO
B4 Tamayo SUSAKI

地震・津波・原発複合被災地の再構成にむけて

Toward reconstructing the area affected by the combined earthquake, tsunami, and nuclear disaster

地域や活動の概要 | 避難指示解除後に現れる課題と新たな主体の地域参入

Background | Challenges that emerge after the lifting of evacuation orders and the entry of new entities into the community

2011 年の東日本大震災での原発被災により、この地域は 5 年半の避難生活を余儀なくされました。2016 年夏の避難指示解除から 6 年が経過しましたが、南相馬市小高区は人口の激減、若者の不足、土地の荒廃など多くの課題を抱えています。

2014 年夏から小高区の訪問や住民との協議が始まり、未知の状況における実践と探求を通じた、魅力ある地域づくりやコミュニティの再生を目的に小高復興デザインセンターが 2016 年度に発足し、2019 年まで南相馬市と共同で交流拠点の整備や「まちなか菜園」事業などの活動を行ってきました。

2022 年度は、住民の震災当時や小高での暮らしを聞き取る「おだかのあかり」インタビューへの同行や、教会幼稚園保存に向けた「小高への想いを語る集い」に参加しました。コロナ禍が続く中で 2021 年度に引き続きまちなか菜園などは継続し、新たなまちづくりの場として発展させる試みを行っています。また、青葉寿司のリノベーションなど、人を取り戻す「復興」から外部の人を引き込んで新たな交流を創出するフェーズへ向けた協働の取り組みも継続しています。

活動内容 | 地域の人々や場所の交流・発信を促し、地域資源の活性化を図る

What we have worked on | Promoting interaction among people and appealing local resources

■まちなか菜園

まちなか菜園は街中の空き地をハーブなどの菜園として活用し、収穫物を用いた企画を通じて人々の交流も促す事業です。2022 年度は夏季に月 1 回程度、合計 5 回のガーデニングデーを開催しました。ハーブティーやハンドクリームづくりワークショップ、ハーブの寄せ植え等を行ったほか、地元の方のご協力のもとまちなかを馬に乗って散歩する企画も行いました。様々な年代の地元の方・転動してきた方など多様な方が立ち寄ってくださり、菜園を通じて新たな活気を生むことができました。まちなか菜園の活動は、来年度以降も継続していきます。



■おだかのあかりインタビュー

2022 年度から地域の人々主体のもと始まった、地域の方の震災当時のお話や小高でのこれまでの暮らしを聞き取り、同時にテキスト・アーカイブ化するプロジェクトに関わりました。月 2、3 回程度のインタビューで 30 人近い方へのインタビューが行われました。ひとりひとり異なる語りをそれぞれのペースでお話いただき、3 月には今年度のインタビューをまとめた報告会が開催されました。当時を振り返り、教訓から学び、次世代へ語りを繋いでいく本プロジェクトは、来年度以降も対象を広げつつ継続していきます。



■青葉寿司リノベーション

2021 年度から始まった、廃業した寿司店をカフェとコワーキングスペースにリノベーションする地域の取り組みに我々も関わってきました。昨年度は様々な人が誰かにシェアしたいものを持ち寄り棚を通して交換・交流する「シェア棚」企画を立ち上げ、試験的に実践を始めました。今は工事もある程度完了し、地域拠点としてのオープンにともない活動も変化の兆しを見せています。来年度以降は地域の「オススメ」などをまとめた地図を作り上げていく企画など、より地域内外の人の交流を生む取り組みを通して関わっていく予定です。



今後の活動の展望

Future vision

■調査・研究

継続して行っている集落部や土地利用の調査は来年度以降も続けていきます。また、空き地を利用したグランドカバーの研究や、震災後の小規模事業所再建に関する研究など、新たな調査研究も行っていきます。



■実践

2022 度まで継続して関わってきたまちなか菜園や青葉寿司リノベーション、おだかのあかりアーカイブプロジェクト等の活動は来年度以降も継続していきます。来年度以降新たに、地域内外の人に向けた小高の情報を集約する地図の作成や、卒業制作をもとにして環境を地域の方々と共に考える展示の企画を進めていきます。

